



名瀬小だより

7月号

学校教育目標

自分・友だち・まちがすき

自ら学び 未来へとかがやく名瀬っ子

令和2年6月30日

横浜市立名瀬小学校

校長 中嶋 孝宏



いよいよ！

副校長 村松 美奈子

7月から給食が再開となり、いよいよ学校生活も本格的に始動します。3月から今までの間、経験したことのない事態に、子どもたちも保護者の皆様もとまどい、不安を感じられていたのではないかと思います。こうやって少しずつ学校生活が戻り、わくわくすることが増えていくよう、名瀬小学校職員一同、力を尽くしていきます。

反面、これまでのストレスや不安感が表面に出てきたり、疲れを感じたりする時期でもあります。子どもたちの心に向き合い、より添いながらじわじわと学校生活に慣れていけるとよいと考えています。ご家庭での様子も伺いながら無理せず進めていきますので、お困りのことやご相談などありましたら、小さなことでも遠慮なくご相談ください。

先日、1年生の生活科、「がっこうたんけん」につき添いました。私も今年度着任したので、名瀬小学校の探検を1年生と一緒に楽しむことができました。屋上から見える景色に歓声を上げ、「先生、僕の家あそこにあるんだよ。」「こっちに来て！私の家も見えるよ。」「あの機械は何だろう。」と会話を楽しみながら学習することができました。マスク着用の中、密になることを避けながらの友達とのやりとりはなかなか難しいところもありましたが、それでも子どもたちは共にいることを喜び、学びにわくわくしていました。これからわくわくできる学び、共にいることを喜ぶことのできる環境を作っていきたいと思います。

また、6年生は「どんな最高学年になりたいか」「最高学年として自分は何ができるのか」考える時間を設定し、熱心に取り組んでいました。スタートが少しずれましたが、いよいよ小学校生活最後の学校生活が本格的に始まります。6年生の活躍が名瀬小学校を支え、前進させます。一人ひとりがじっくりと取り組んでいる姿に、学校にいるみんなの憧れの6年生になれるだろうなど、楽しみになりました。

学校は「学び」の場所です。それは学習内容を理解するというだけでなく、自分の考えを決める力、周りの状況を判断する力、実際に行動していく力、友達を思いやる力など、生きていく力を育てるということだと考えています。名瀬小学校の教育活動にご理解ご協力いただき、感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。